

Leica TCS SP8（超解像レーザー顕微鏡操作説明会）

サンプルの作成方法について

A 共焦点レーザー顕微鏡用サンプル

通常の蛍光多重染色標本を用意して下さい。

使用可能なレーザー光源

Blue diode 405 nm

Argon 458 nm, 488 nm, 514 nm

White laser 470 ~ 670 nm（この範囲の任意の波長）

※波長の適切な組み合わせにより4重染色まで使用可能であることを確認済みです。

※4重染色の実例 ①ビオチン化二次抗体+streptavidin-HorizonV500 ② Alexa 488
③ Rhodamine Red ④ DyLight 649（Cy5 相当）

B STED

592 nm を吸収する色素や封入剤が含まれていないことが必須

以下は使用不可

蛍光色素: DAPI, Hoechst, Cy3, TRITC, Rhodamine Red, Alexa546/555/568/594,
PI DsRed, Texas Red, mCherry など

封入材: Vectashield, Slowfade

※使用実績 蛍光色素: Alexa 488, Horizon V500（この2つによる二重染色も可能）

封入剤: Prolong Gold

Leicaの説明ではTDE, Moviolも使用可能とされています。

※培養細胞の場合、カバーガラス直下が最もSTEDでの分解能が上がるので、カバーガラス上で培養してください。

※STEDでの観察希望者で、期日までに封入剤Prolong Goldの入手が困難な場合、少量なら当教室のものを使っても結構です。